

## 平成 21 年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題の指定について

平成 21 年 3 月 12 日  
総合科学技術会議

平成 21 年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題として、下記の課題を指定することとする。

### 記

課 題 名	内 容	担当府省等
第 4 期科学技術基本計画策定に向けた調査研究	平成 22 年度に第 4 期科学技術基本計画を策定する準備として、国内外の最新科学技術や科学技術政策の動向等について調査・分析を行う。 (実施予定期間 1 年)	文部科学省 (科学技術政策研究所)
社会還元加速プロジェクトに係る調査研究	社会還元加速プロジェクトを効果的に遂行していくため、国内外の関連する技術開発や法律等の動向及び当該プロジェクトを推進する上で必要となるシステムとその効果の評価方法等、各プロジェクトを推進していく上で基礎となる調査研究を行う。 (実施予定期間 1 年)	内閣府 (※)
スーパー特区における薬事上の課題抽出及び対応に向けた調査研究	スーパー特区チームのベンチャー企業やアカデミアが必要としている初歩的な薬事相談の内容がどのようなものであるかについて、実際に相談窓口を設け、個別具体的に相談を行うとともに、相談の中で課題や対応方を抽出する研究を行う。 (実施予定期間 1 年)	厚生労働省 (国立医薬品食品衛生研究所)
研究機関における機関内倫理審査委員会の抱える課題の抽出とその対応に向けた調査研究	生命倫理の諸問題に対応する各研究機関の倫理審査委員会の在り方や問題点について、国内外の研究機関への実施訪問、アンケート等を行い、我が国の現状と課題の抽出、海外の同種の委員会との対比、諸外国の政策や規制の動向に関する調査研究を行う。 (実施予定期間 1 年)	内閣府 (※)

※担当府省において、入札により実施機関を選定し課題を実施

# 平成21年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける課題の指定について

平成21年5月21日  
総合科学技術会議

平成21年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける調査研究として、下記の課題を指定することとする。

## 記

### 1. 課題名

新型インフルエンザ対策に資する緊急研究

### 2. 担当府省

文部科学省

厚生労働省

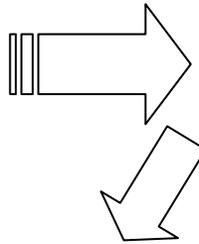
# 新型インフルエンザ対策に資する緊急研究

## 背景

- ・メキシコや北米を中心とした世界的流行
- ・我が国での感染者の発生、拡大
- ・今冬にも想定される流行第2波の懸念



## 研究開発



### 臨床現場での早期診断等の体制の構築

- ①簡便、迅速かつ正確な病原体診断方法を開発するとともに、約半年間で現場での実用化を図る。
- ②医療機関における早期診断法の活用方策等を検討する。

国立感染症研究所

国立国際医療センター

理化学研究所・東京大学医科学研究所

### 国内発生状況の早期把握及び政策決定への反映

- ①過去における流行株との関係等を血清学的に把握する。
- ②新型インフルエンザウイルスのサーベイランス体制の構築について検討する。
- ③上記①②を元に国民への情報発信、リスクコミュニケーションの確保につなげる。

国立感染症研究所  
・感染症情報センター  
・インフルエンザウイルス研究センター

## 期待される効果

- ・懸念される今冬の感染拡大(第2波)時における迅速な診断・治療体制の確保
- ・ウイルスの国内まん延防止